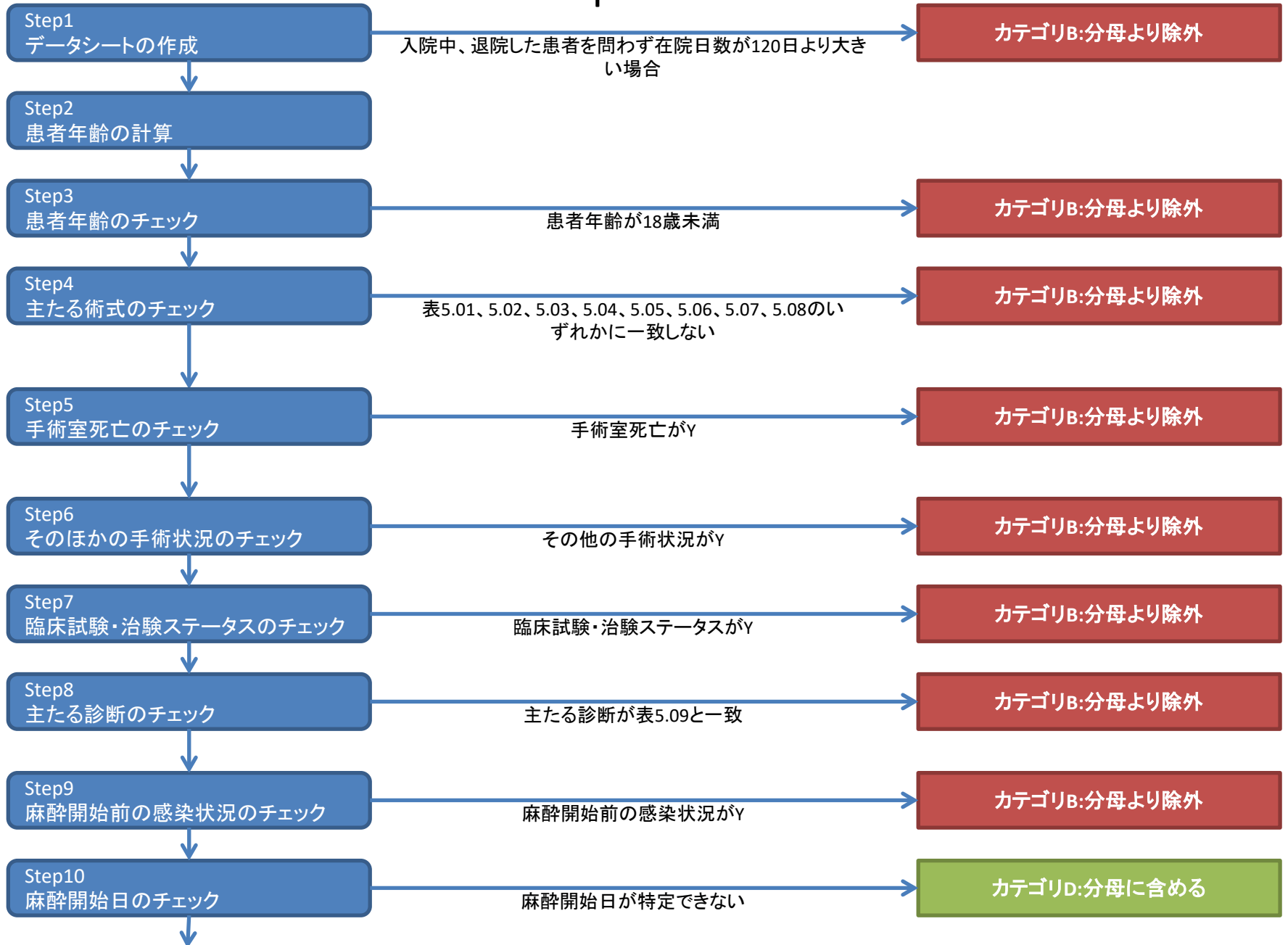
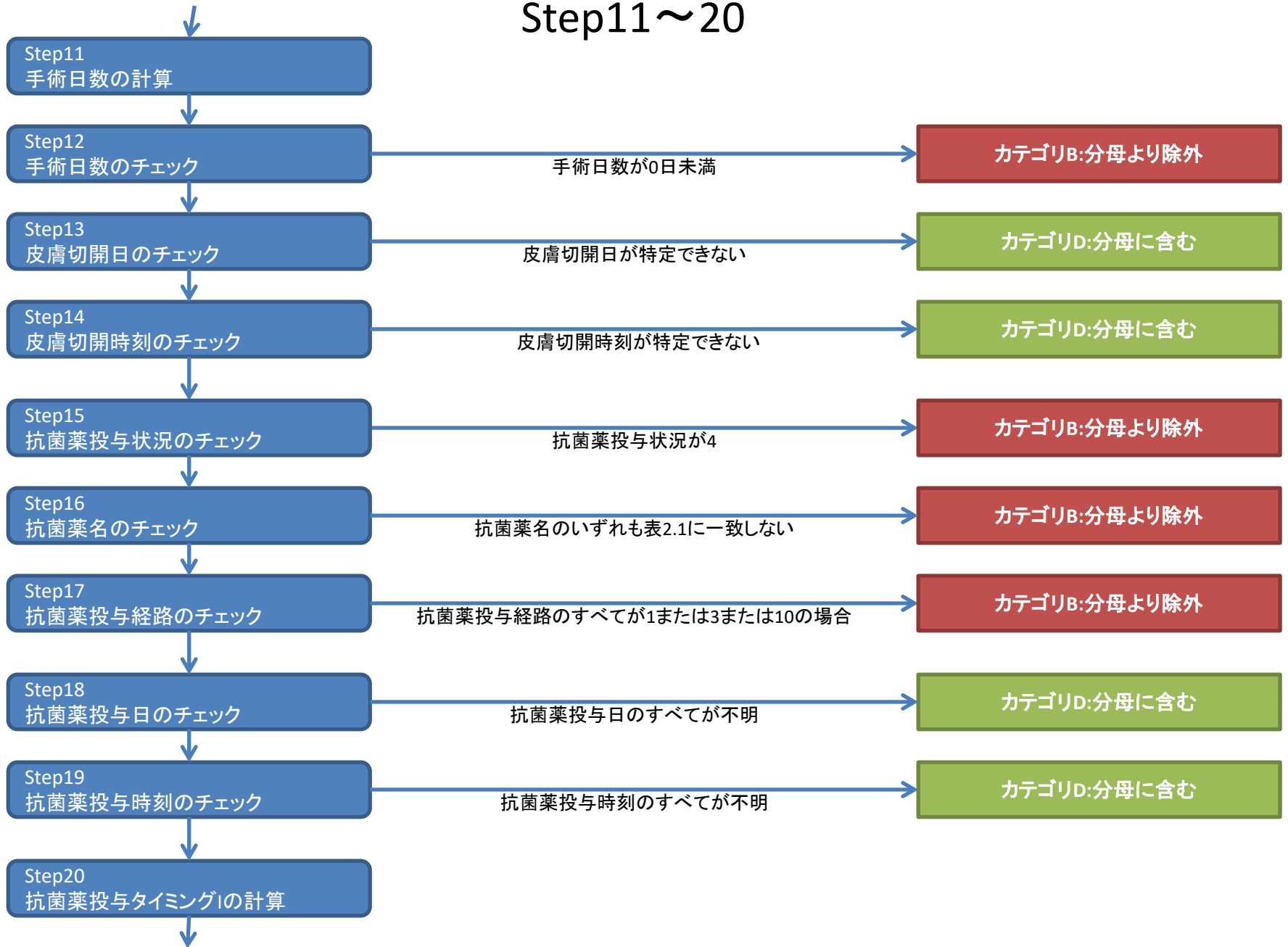


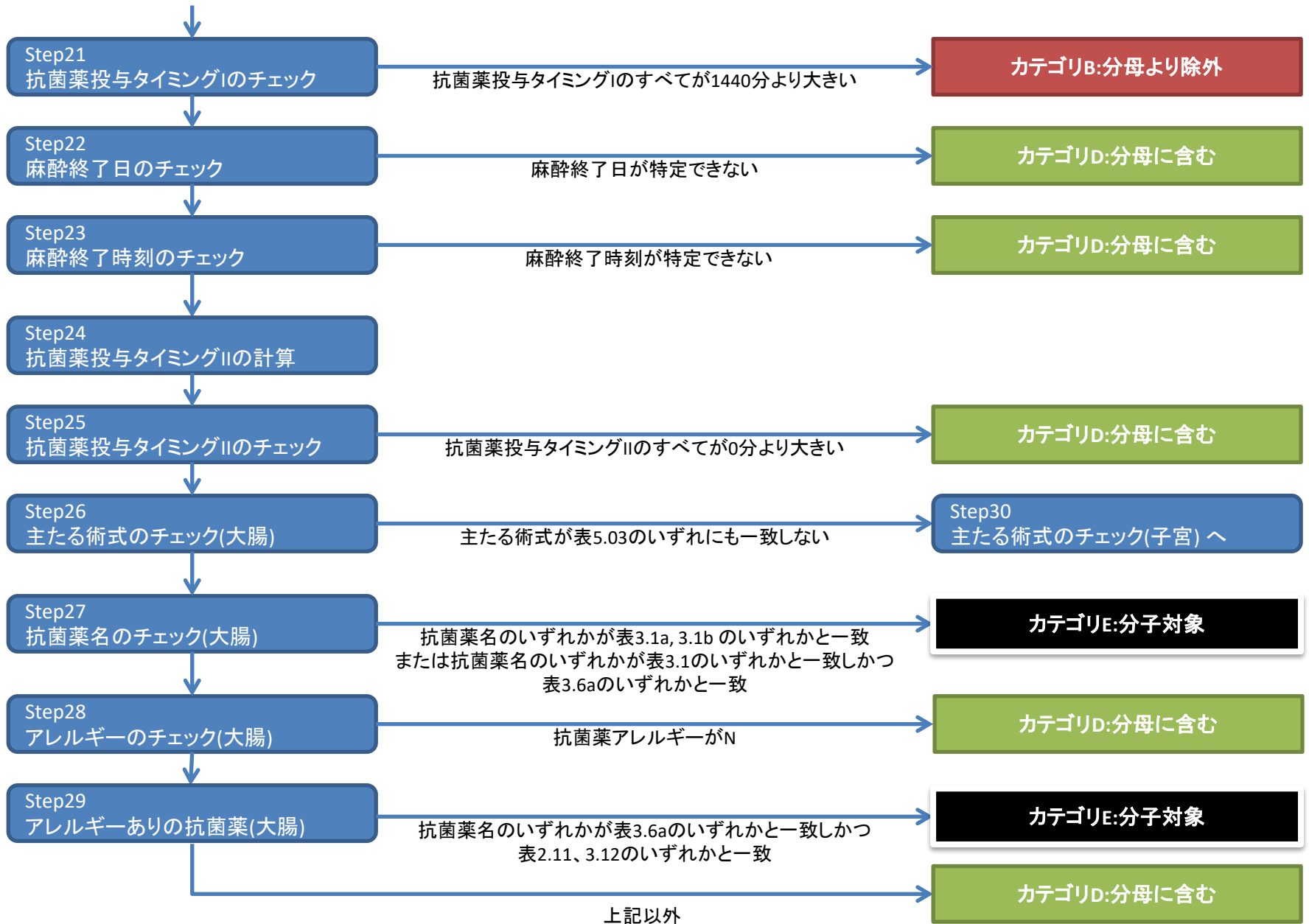
# Step1～10



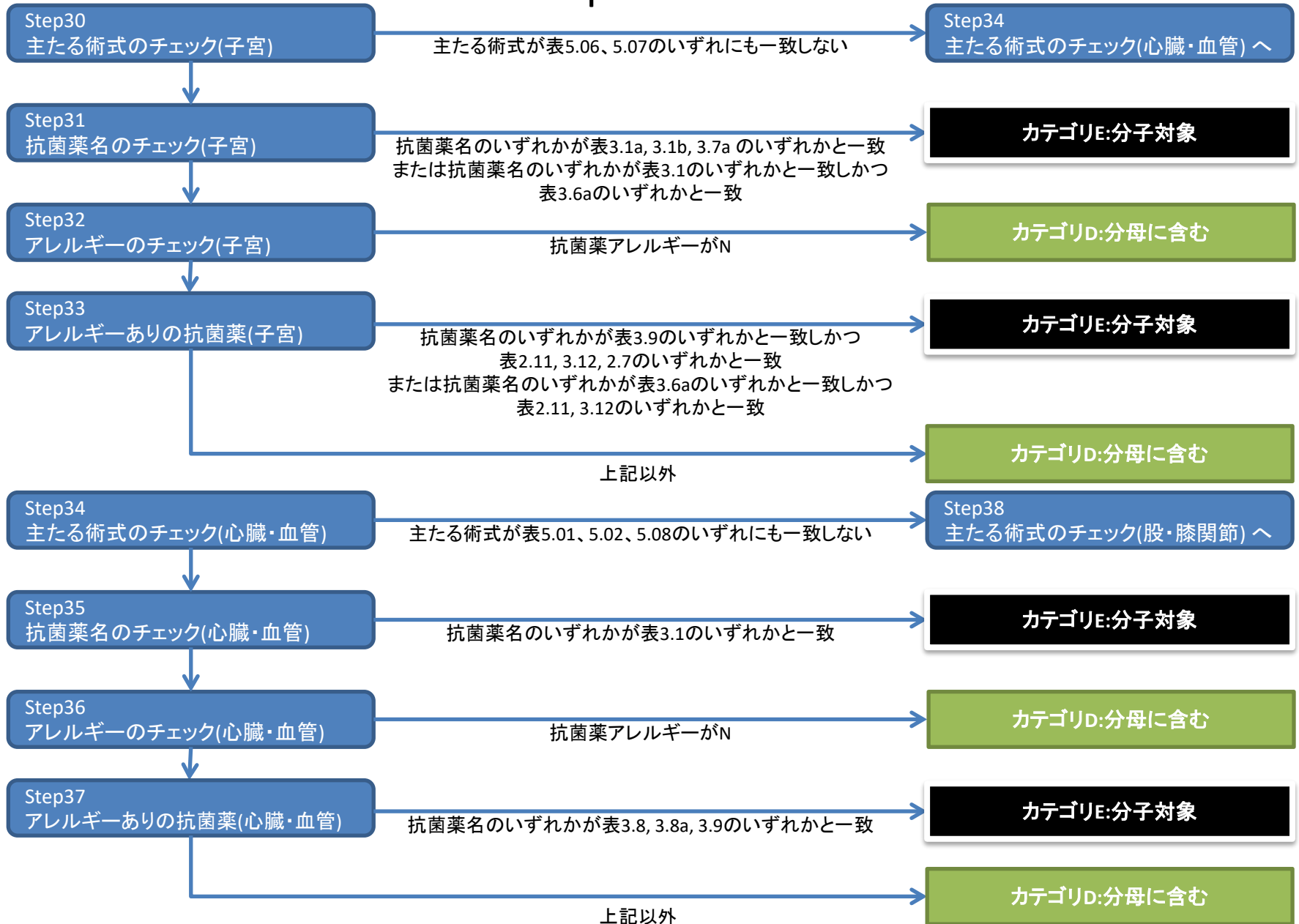
# Step11～20



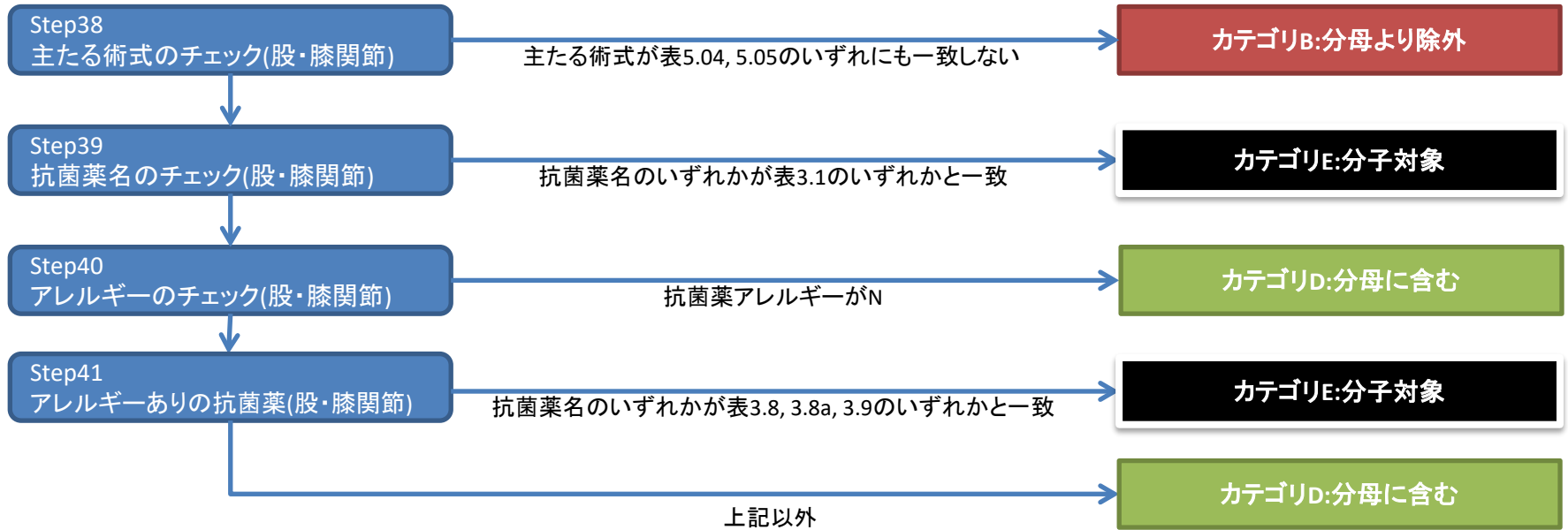
# Step21～29



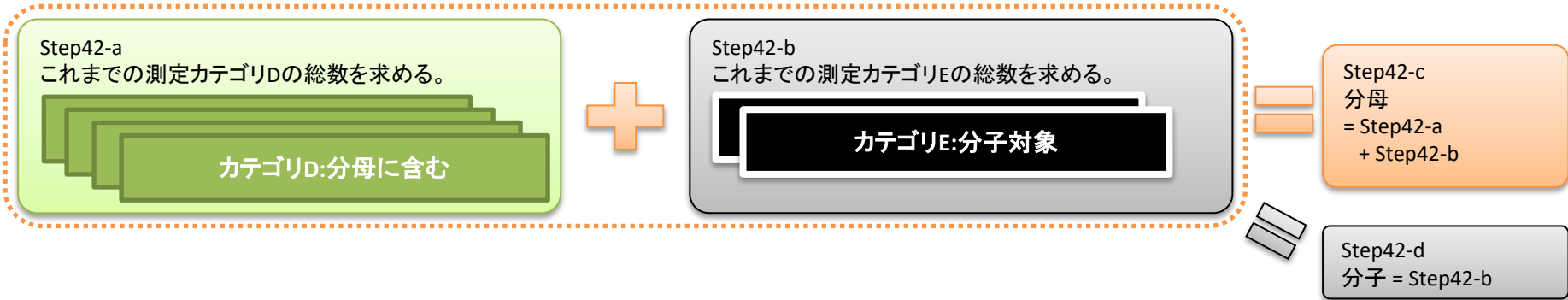
# Step30~37



# Step38~42

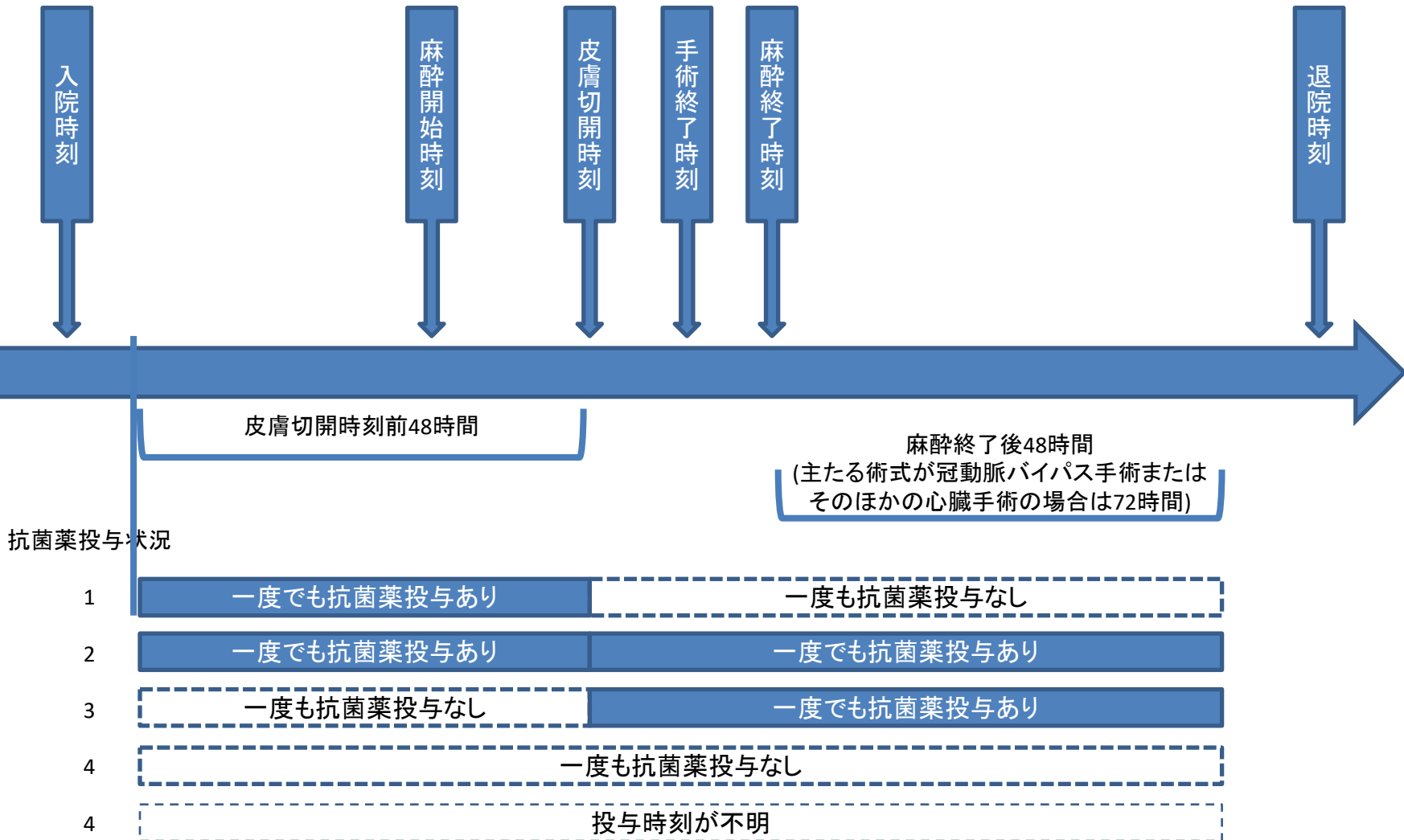


## Step42 分母・分子の計算



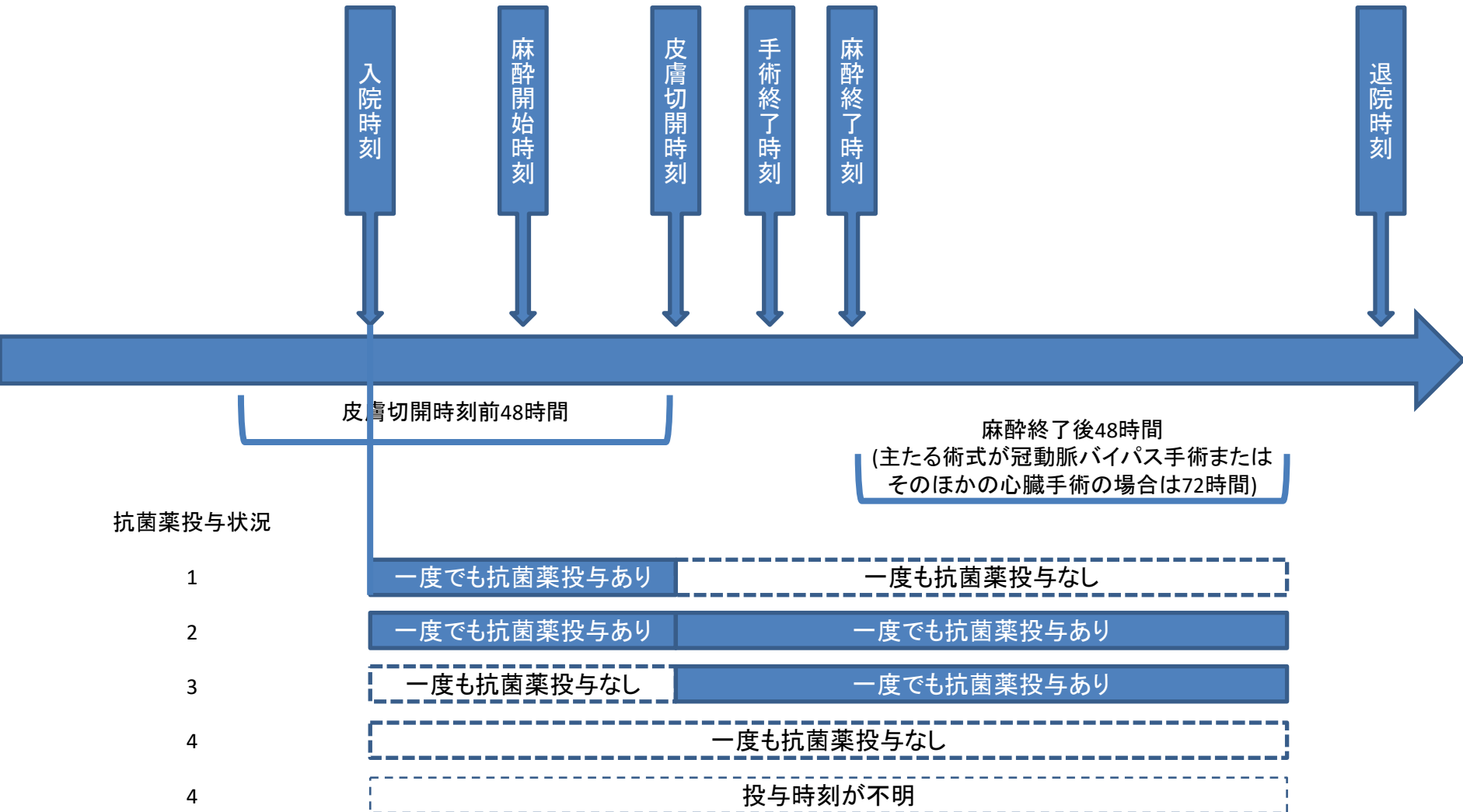
# 抗菌薬投与状況の求め方

## 入院時刻が皮膚切開時刻前48時間より早い場合



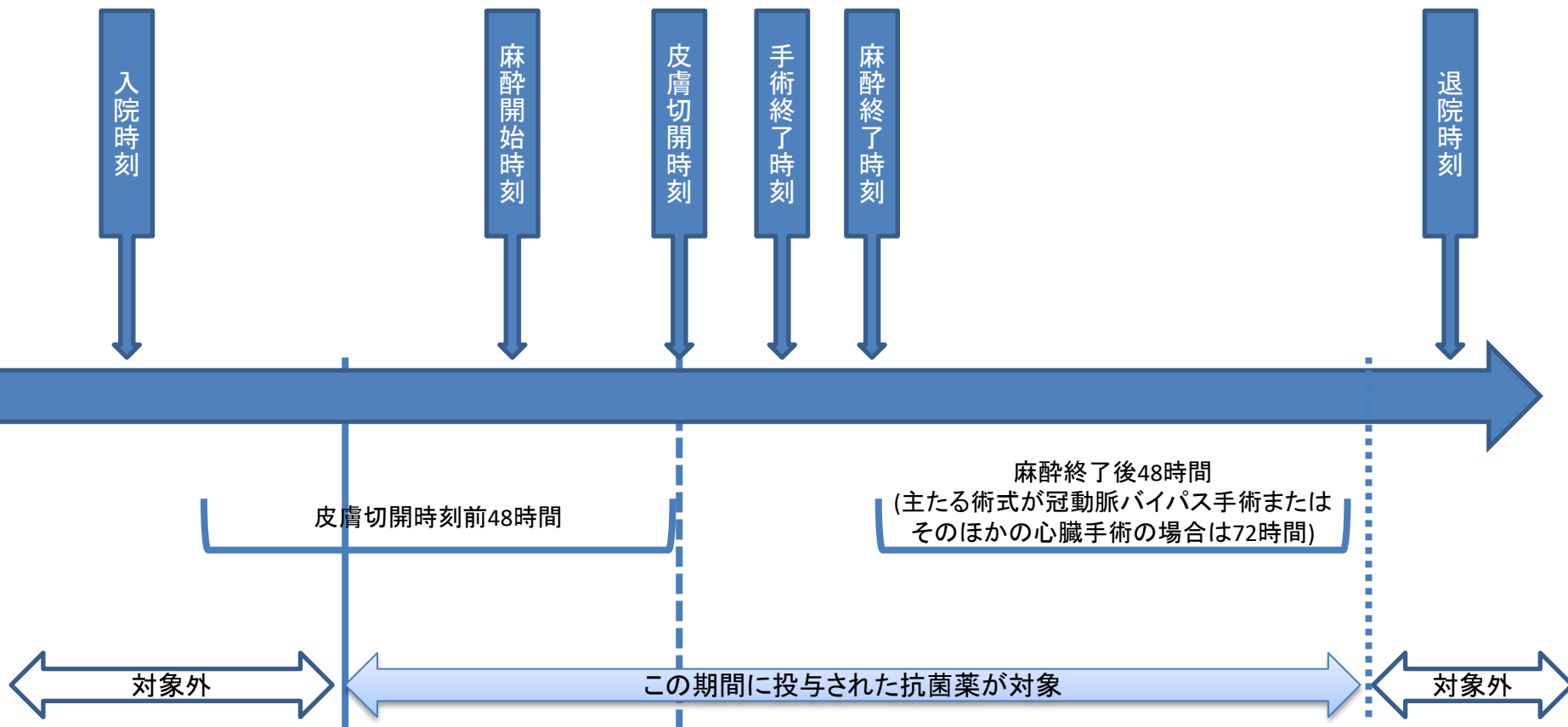
# 抗菌薬投与状況の求め方

## 入院時刻が皮膚切開時刻前48時間より遅い場合



# Inf-2 対象抗菌薬の求め方

## 入院時刻が皮膚切開時刻前48時間より早い場合

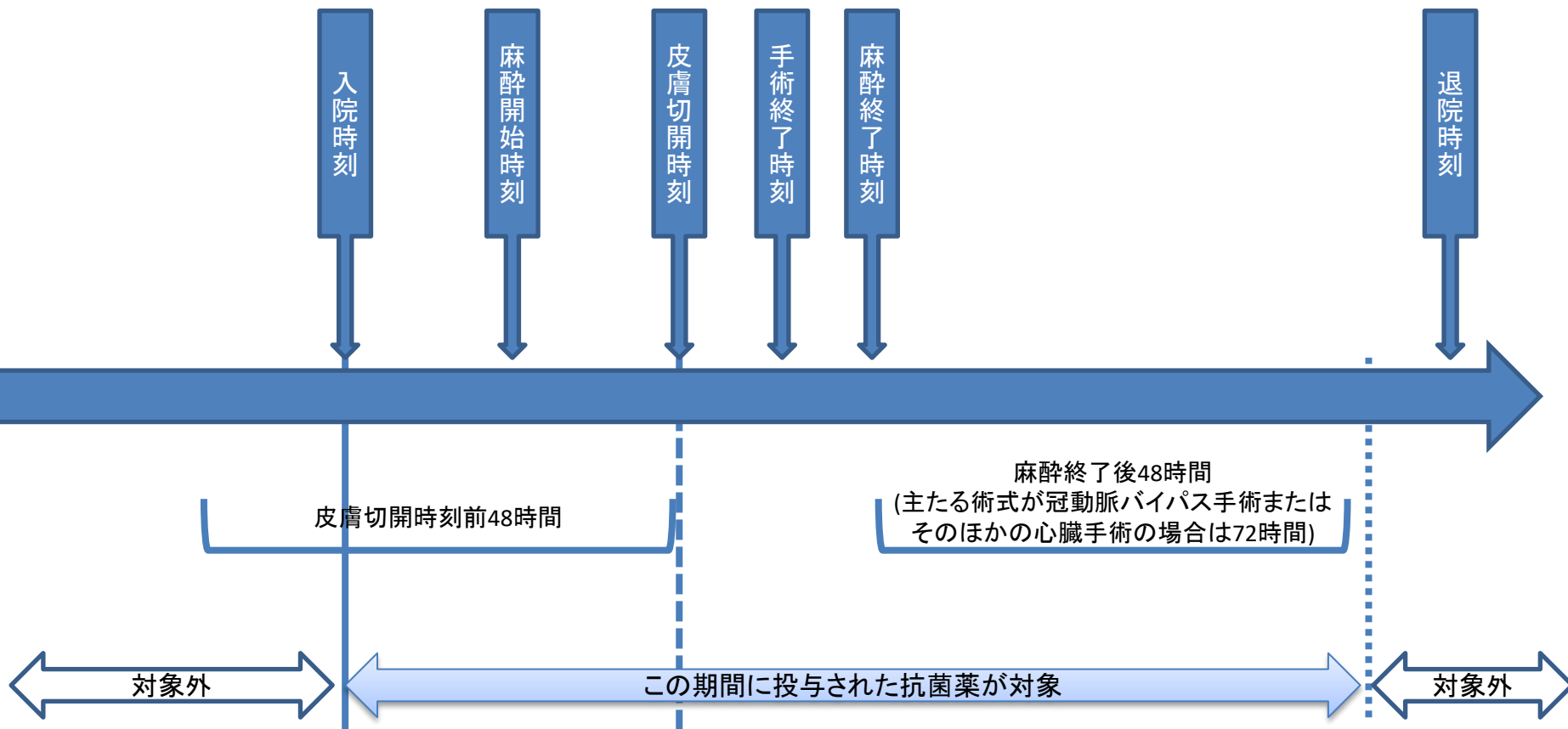


対象期間中に投与されたすべての抗菌薬名, 抗菌薬投与時刻(開始時刻), 抗菌薬投与経路を求める



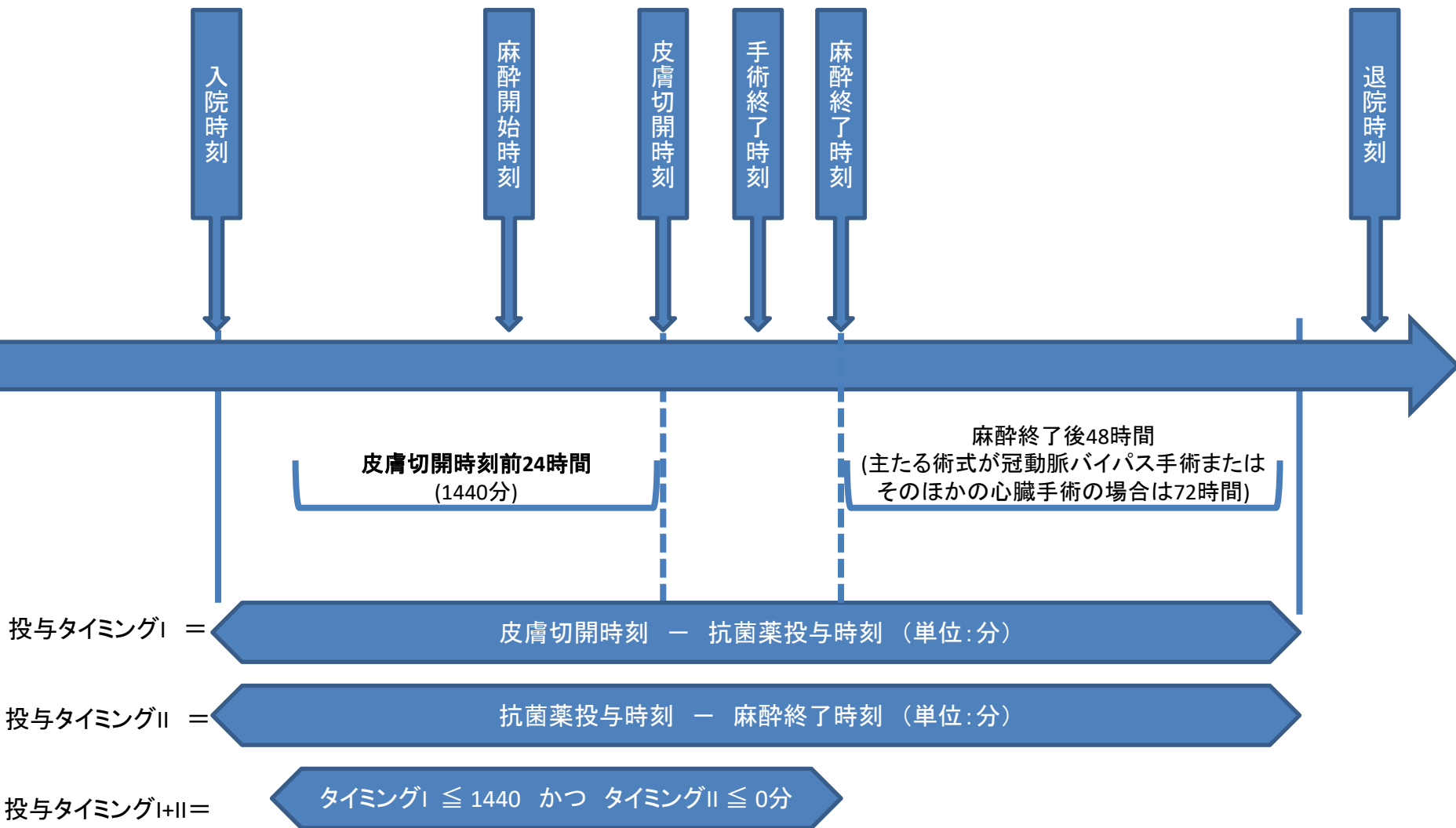
# Inf-2 対象抗菌薬の求め方

## 入院時刻が皮膚切開時刻前48時間より遅い場合



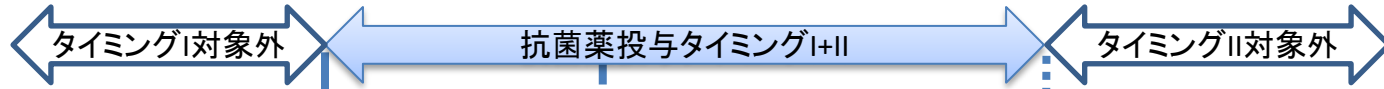
対象期間中に投与されたすべての抗菌薬名, 抗菌薬投与時刻(開始時刻), 抗菌薬投与経路を求める

# 抗菌薬投与タイミングI, 抗菌薬投与タイミングIIの求め方 (Step20~25の補足)



投与タイミングI、投与タイミングII、投与経路が経静脈投与、の3つの条件をすべて満たす抗菌薬すべてが対象

# 計算対象となる抗菌薬の求め方 (Step20~25の補足)



Case	対象薬剤が何種類何回数	投与時刻 (A/B/C)	対象判定
Case1	対象薬剤が1種類単回	A (タイミングI対象外)	Case1 対象外 タイミングI+IIを満たさない
Case2	対象薬剤が1種類単回	A (タイミングI+II)	Case2 対象 タイミングI+IIを満たす
Case3	対象薬剤が1種類単回	A (タイミングII)	Case3 対象 タイミングI+IIを満たす
Case4	対象薬剤が1種類単回	A (タイミングII対象外)	Case4 対象外 タイミングI+IIを満たさない
Case5	対象薬剤が2種類複数回	A, B (タイミングI+II), B (タイミングII)	Case5 A1回, B2回とも対象
Case6	対象薬剤が2種類複数回	A (タイミングI対象外), B (タイミングI+II), B (タイミングII)	Case6 B1回のみ対象
Case7	対象薬剤が2種類複数回	A (タイミングI対象外), B (タイミングII), A (タイミングII対象外)	Case7 A,Bとも対象外
Case8	対象薬剤が3種類複数回	A (タイミングI対象外), B (タイミングI+II), C (タイミングI+II), C (タイミングII)	Case8 B1回, C2回が対象

皮膚切開時刻  
前1440分  
(24時間)

皮膚切開時刻

麻酔終了時刻

# 術式別推奨抗菌薬リスト

## (術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドラインより)

術式	推奨抗菌薬	Step	理由のある バンコマイシン	Step	Bラクタムアレルギーあり	Step
冠動脈 バイパス手術 (表5.01)	Cefazolin (表3.1)	35	Vancomycin(表3.8)	37	Vancomycin(表3.8) or Clindamycin(表3.9) or Teicoplanin(表3.8a)	37
その他心臓手術 (表5.02)	Cefazolin (表3.1)	35	Vancomycin(表3.8)	37	Vancomycin(表3.8) or Clindamycin(表3.9)	37
血管手術 (表5.08)	Cefazolin (表3.1)	35	Vancomycin(表3.8)	37	Vancomycin(表3.8) or Clindamycin(表3.9)	37
股関節手術 (表5.04)	Cefazolin (表3.1)	39	Vancomycin(表3.8)	41	Vancomycin(表3.8) or Clindamycin(表3.9) or Teicoplanin(表3.8a)	41
膝関節手術 (表5.05)	Cefazolin (表3.1)	39	Vancomycin(表3.8)	41	Vancomycin(表3.8) or Clindamycin(表3.9) or Teicoplanin(表3.8a)	41
大腸手術 (表5.03)	Cefmetazole(表3.1b) or Flomoxef(表3.1a) or Cefazolin(表3.1) + Metronidazole(表3.6a)	27	---	---	Metronidazole(表3.6a)+ Amynoglycoside(表2.11) or Metronidazole(表3.6a)+ Quinolone(表3.12)	29
子宮全摘 (表5.06、5.07)	Cefmetazole(表3.1b) or Flomoxef(表3.1a) or Ampicilline/Sulbactam(表3.7a) or Cefazolin(表3.1) + Metronidazole(表3.6a)	31	---	---	Clindamycin(表3.9)+ Amynoglycoside(表2.11) or Clindamycin(表3.9)+ Quinolone(表3.12) or Clindamycin(表3.9)+ Aztreonam(表2.7) or Metronidazole(表3.6a)+ Amynoglycoside(表2.11) or Metronidazole(表3.6a)+ Quinolone(表3.12) or	33

# 用語説明

- 在院日数が120日以上 の患者について
  - データ作成時に120日以上 の患者を在院日数が120日以上 の患者と見なします
- 局所麻酔で行った手術における麻酔終了時刻について
  - 当該術式が局所麻酔で行われた場合の手術終了時刻を麻酔終了時刻と見なします
- 麻酔前の感染状況について
  - 膿瘍、蜂窩織炎、腸穿孔、肺炎、敗血症などは感染に含まれます。真菌感染、ウイルス感染などは感染に含まれません。また白血球数やCRP等の検査結果の数値のみで感染は判断できません。